

# 地質標本館の年表 (3)

## ～産総研の発足から平成時代の終わりまで～

利光 誠一<sup>1)</sup>・藤原 治<sup>2)</sup>・森田 澄人<sup>3)</sup>

地質標本館は、1980年8月19日につくばの研究学園都市で開館し、それ以来、39年が経ちました。この間、所属する通産省工業技術院地質調査所(GSJ)が2001年4月に経済産業省の独立行政法人産業技術総合研究所地質調査総合センター(ただし、英語名および英語略称は変更なく継承)となり、2015年4月から法人格が国立研究開発法人に移り変わっています。地質標本館の所属も、GSJ傘下から、独法化後、産総研の支援部署である成果普及部門、広報部と変わり、2010年10月からは正式にGSJの一部署となりました。そして、2015年度からGSJの中の地質情報基盤センターに組み込まれています。

地質標本館の歴史は40年ほどですが、その前身は1878年の木石陳列所に遡ります(坂本, 1990)。その後の歴史は、尾上ほか(1990)および地質標本館(2001)に年表としてまとめられています。本稿では、地質標本館(2001)で示された後の時代、すなわち産総研の発足から、平成の時代が終わり令和の時代へと変わった時点までを区切りとして、年表形式で地質標本館の歴史をまとめることを主眼としています。そして、表題を尾上ほか(1990)にならい、3番目の年表出版として通番を付しています。今後も何かの節目に合わせて地質標本館の歴史が綴られていくことを期待しています。

上述したように地質標本館の所属が変わってきましたが、この間、役割の変更もありました。産総研になった時には、地質調査所時代に研究部相当だった地質標本館のうち、標本研究の部分が研究ユニット(地球科学情報研究部門)の1グループになり、アウトリーチおよび標本管理の部分が支援部門(成果普及部門の一部)の枠組みに入れられました。2010年10月にGSJの一部署となってからは、GSJ全体のアウトリーチも所掌することになり、業務が大幅に増えています。そもそも、GSJのアウトリーチ業務が産総研になって徐々に増えており、地質標本館もこの一部に協力・支援していましたが、それを一手に担当することになりました。そのため、本稿で示す年表には、GSJのアウトリーチも合わせて記しています。2015年度からは地

質情報基盤センターの中で、地質標本館を運営する地質標本館室が設置され、地質標本館で行う展示やイベントなどのアウトリーチが所掌となりましたが、地質標本館室としてGSJ全体のアウトリーチの支援も合わせて行っています。

産総研になってからの大きな出来事として2011年3月11日の東日本大震災が思い起こされます。災害の多い時代として記憶される平成時代を象徴する出来事でした。地質標本館では別棟の標本収蔵庫での物的被災(標本棚の一部損壊)がありましたが、展示室では一部小さな被害を除き、大きな損壊はありませんでした。しかしそれでもGSJ全体の復旧や館内の安全確認などのため1ヶ月余りの閉館を余儀なくされました。それ以降、入館者数の減少が続きましたが、2015年以降回復傾向で(森尻ほか, 2017など)、2018年5月23日に開館以来120万人目の来館者をお迎えすることができました(産総研地質調査総合センター地質情報基盤センター, 2018)。前後して、2018年3月には、第1展示室の日本列島大型地質模型リニューアルがありました(藤原・芝原, 2018)。開館以来の大幅な展示改修とも言えるもので、新調した立体模型にプロジェクションマッピングにより多様な地質情報と社会基盤情報を重ねて見せることができるようになりました(写真1)。今後も徐々に館内の展示改修がなされていく予定ですが、多くの来館者に地質への親しみと理解を深めていただく施設として、地質標本館が発展していくことを期待しています。

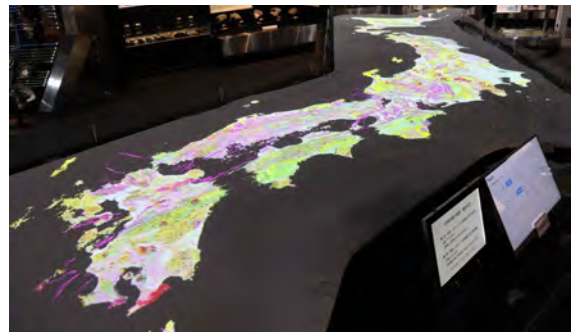


写真1 開館以来の大幅改修となった第1展示室の日本列島大型模型(プロジェクションマッピング化; 2018年3月/地質標本館室 運営グループ撮影)

1) 産総研 地質調査総合センター 地質情報研究部門  
2) 産総研 地質調査総合センター 活断層・火山研究部門  
3) 産総研 地質調査総合センター 地質情報基盤センター

キーワード: 地質標本館, 産業技術総合研究所, 平成, 令和, 年表

地質標本館年表(2001-2019)

年	地質標本館	地質調査総合センター	産総研・社会・地球科学
2001 (平成13)	<p>3.24 第6回 自分で作ろう!!化石レプリカ「中生代爬虫類の歯化石」</p> <p>4.1 成果普及部門地質標本館に移行、地質相談所を地質標本館に移行</p> <p>4.1 地質標本館ホームページをリニューアル</p> <p>4.16-6.16 科学技術週間 特別展—地質標本館—「特集:三宅島」,「特集:鳥取西部地震」,「特集:山陰の鉱物資源」</p> <p>7.20 土日祝日開館(月曜日休館)に変更</p> <p>7.20 地質標本館夏の特別講演会「海洋深層水とは?—室戸海洋深層水の研究と利用の現状—」</p> <p>7.20-9.30 夏の特別展「海洋:その資源と環境」</p> <p>8.25 夏休み地球何でも相談(岩石・鉱物・化石の鑑定), 体験学習「黄鉄鉱ひろい」</p> <p>8.26 産総研一般公開 体験学習「鉱物」に名前をつけよう!」</p> <p>11.6-12.2 秋の特別展「最新の地質図」</p> <p>11.10 第7回 自分で作ろう!!化石レプリカ「中生代ジュラ紀 カブトガニ」</p> <p>12.4-2002.3.3 冬の特別展「北陸地質情報展」</p>	<p>1.1 通商産業省工業技術院地質調査所から経済産業省産業技術総合研究所地質調査所に移行</p> <p>4.1 地質の調査に関わる業務を担う組織として深部地質環境研究センター, 活断層研究センター, 地球科学情報研究部門, 地質資源環境研究部門, 海洋資源環境研究部門, 成果普及部門地質調査情報部, 成果普及部門地質標本館, 国際部門国際地質協力室, 北海道地質調査連携研究体, 関西地質調査連携研究体が設置され, これらに地質調査総合センター(GSU)と総称, 研究コーディネーター(金原啓司)を置く</p> <p>4.1 地質調査所月報を地質調査研究報告に名称変更</p> <p>4.17 三宅高校の生徒を招待し三宅島火山に関する授業</p> <p>9.12 最新地質図発表会(東京)</p> <p>9.21-23 北陸地質情報展—ぼくらをのせた大陸のかけら 北陸地質情報展—(金沢市)</p>	<p>1.1 行政改革による中央省庁再編</p> <p>1.26 インド西部地震 M7.7</p> <p>3.24 芸予地震 M6.7</p> <p>4.1 国立研究所の独立行政法人化</p> <p>4.1 経済産業省産業技術総合研究所傘下の15研究所が独立行政法人産業技術総合研究所に移行, 産総研理事長に吉川弘之就任</p> <p>7.20 産総研つくばセンター一般公開</p> <p>12.10 野依良治氏にノーベル化学賞</p>
2002 (平成14)	<p>3.23 第8回 自分で作ろう!!化石レプリカ「異常巻アンモナイトと巻貝ピカリエラ」</p> <p>4.15 文部科学大臣賞 松江千佐世(第43回)創意工夫功労者表彰「地質標本館 標本資料報告のCD-ROM化の改良」</p> <p>4.16-6.16 科学技術週間特別展「鉱物の世界」・春の特別展「切手の鉱物—世界の鉱物切手コレクションから—」</p> <p>4.18 科学技術週間特別講演会「鉱物の名前とその由来」・「温泉から生まれる鉱物」</p> <p>7.22 夏の特別講演会「活断層と地震考古学—21世紀の大地震を考える—」</p> <p>7.27-9.29 夏の特別展「活断層と地震—活断層ってなあに?—」</p> <p>8.23 夏休み体験学習「化石のクリーニング」</p> <p>8.24 夏休み地球何でも相談</p> <p>8.24-8.25 特別展示「日本最大級のナウマンゾウ臼歯化石緊急展示」</p> <p>10.12 野外観察会「奥久慈の海底火山とめのうをさがして」</p> <p>11.9 第9回 自分で作ろう!!化石レプリカ「ウミユリ」</p> <p>11.19-2003.2.2 冬の特別展示「新潟地質情報展」(第1期~第2期)</p> <p>12.27 地質標本登録データベース(DGEMS)公開</p>	<p>2.16-17 知ってますか?あなたの町の地質—近畿の地質図展—(大阪市)</p> <p>6.7 地質調査総合センター記念講演会(東京)</p> <p>8.2-4 火山とともに生きる大地—北海道の地質図展—(札幌市)</p> <p>9.14-16 地質情報展—いかにたのぞいてみよう大地の不思議—(新潟市)</p>	<p>2.1 コンゴのニールゴンゴ火山で大規模噴火</p> <p>3.3 アフガニスタン北部地震 M7.4</p> <p>3.25 アフガニスタン北部地震 M6.1</p> <p>7.27 産総研つくばセンター一般公開</p> <p>12.10 小柴昌俊氏にノーベル物理学賞, 田中耕一氏にノーベル化学賞</p>
2003 (平成15)	<p>2.19-3.23 第1回「地質写真」コンテスト</p> <p>3.22 第10回 自分で作ろう!!化石レプリカ「アンモナイト」</p> <p>3.31 展示改修「地質リポートセンシング」,「地熱—自然にやさしい地中熱利用—」,「火山コーナー」,「鉱物資源—私たちの生活を支える非金属鉱物資源—」,「液状化層はなぜ取り標本」,「地質図コーナー」,「コンコラプトル」</p>	<p>5.26-29 地球惑星科学関連学会合同大会にGSUブース出展(千葉市)</p> <p>9.19-21 地質情報展2003しずおか—プレートの出会う場所—(静岡市)</p> <p>12.1 研究コーディネーターに佃 栄吉就任</p>	<p>5.26 三陸南地震 M7.0</p> <p>7.20 熊本県水俣市に土石流</p> <p>7.23 宮城県北部地震 M6.2</p> <p>7.26 産総研つくばセンター一般公開</p> <p>9.26 十勝沖地震 M8.0</p>

<p>14.26 イラン地震 M6.5</p>	<p>6.27-7.7 第1回世界ジオパークネットワーク会議 (北京) 7.24 産総研つくばセンター一般公開 7.30 千葉県の九十九里いわし博物館でガス爆発事故 8.20-28 第32回万国地質学会議 (イタリア フィレンツェ) 9.1 浅間山噴火 10.23 新潟県中越地震 M6.8 12.26 スマトラ島沖地震 M9.1</p>	<p>2.8 鹿児島県吾平町の斜面崩壊 3.20 福岡県西方沖地震 M7.0</p>
<p>4.1 第9代館長 青木正博 4.15-6.25 春の特別展示「2002年度」に改修された7つの新展示の紹介」 6.11-6.25 速報展示「宮城県沖の地震」 6.11-11.3 新着標本展示「日本最古の樹木の化石 ―デボン紀鱗木化石 Leptophloeum ―」 7.19 野外観察会「霞ヶ浦周辺の地層と化石」 7.23 常陸宮同妃面殿下 地質標本館をご視察 7.26 夏の特別講演会「富士山が噴火するとどうなるか」 7.26-9.28 夏の特別展「富士山 現在・過去・未来」 7.29-10.13 速報展示「7月26日宮城県北部で震度6強の地震」 8.22 夏休み体験学習「石を割ってみよう！」 8.23 夏休み地球何でも相談 10.15-11.15 速報展示「平成15年十勝沖地震」 11.8 第11回 自分で作ろう!!化石レブリカ「三葉虫」 11.5-2004.2.29 冬の特別展「地質情報展2003しずおか プレートの出会う場所」で」</p>	<p>5.1 地球科学情報研究部門と海洋資源環境研究部門を改廃し、地質情報研究部門新設 5.1 GSI代表を置く(代表:研究コーディネーター 田 栄吉) 5.9-13 地球惑星科学関連学会2004年合同大会にGSIブース出展(千葉市) 8.1 地質調査情報センター設置 9.18-20 地質情報展2004 ちば―海から生まれた大地―(千葉市)</p>	<p>5.22-26 地球惑星科学関連学会2005年合同大会にGSIブース出展(千葉市)</p>
<p>2004 (平成16)</p> <p>1.17 普及講演会「古生物学―貝化石を用いた研究」 3.3-4.4 第2回「地質写真」コンテスト 3.27 第12回 自分で作ろう!!化石レブリカ「ウミサンリ」 4.13-6.27 春の特別展「地球再発見」地球観の変遷―プレートテクトニクスを中心として― 4.17 科学技術週間特別講演会「水晶の生いたち」 5.7 地質標本館ウェブサイトで地質標本鑑賞会のページを公開 7.1 成果普及部門の改廃に伴い広報部地質標本館に移行 7.22 夏の特別講演会「メタンハイドレートを未来のエネルギー資源ととらえて」 7.24-9.26 夏の特別展「メタンハイドレート―新しいエネルギー資源への取り組み―」 7.31 夏休み体験学習「石を割ってみよう！」 8.20 夏休み体験学習「化石のクリーニング」 8.21 夏休み地球何でも相談 9.9-12.27 速報展示「浅間火山2004年9月1日噴火緊急調査」 10.5-2005.2.27 秋冬の特別展「地質情報展2004ちば 海から生まれた大地」(第1期～第5期) 10.23 野外観察会「笠間市周辺の岩石と鉱物 ―稲田石採掘場と高取鉱山跡を訪ねて―」 10.30 普及講演会「誕生石の話」 11.13 第13回 自分で作ろう!!化石レブリカ「白亜紀の魚類」 12.3-2005.4.17 速報展示「2004年10月23日新潟県中越地震」</p>	<p>1.17 普及講演会「古生物学―貝化石を用いた研究」 3.3-4.4 第2回「地質写真」コンテスト 3.27 第12回 自分で作ろう!!化石レブリカ「ウミサンリ」 4.13-6.27 春の特別展「地球再発見」地球観の変遷―プレートテクトニクスを中心として― 4.17 科学技術週間特別講演会「水晶の生いたち」 5.7 地質標本館ウェブサイトで地質標本鑑賞会のページを公開 7.1 成果普及部門の改廃に伴い広報部地質標本館に移行 7.22 夏の特別講演会「メタンハイドレートを未来のエネルギー資源ととらえて」 7.24-9.26 夏の特別展「メタンハイドレート―新しいエネルギー資源への取り組み―」 7.31 夏休み体験学習「石を割ってみよう！」 8.20 夏休み体験学習「化石のクリーニング」 8.21 夏休み地球何でも相談 9.9-12.27 速報展示「浅間火山2004年9月1日噴火緊急調査」 10.5-2005.2.27 秋冬の特別展「地質情報展2004ちば 海から生まれた大地」(第1期～第5期) 10.23 野外観察会「笠間市周辺の岩石と鉱物 ―稲田石採掘場と高取鉱山跡を訪ねて―」 10.30 普及講演会「誕生石の話」 11.13 第13回 自分で作ろう!!化石レブリカ「白亜紀の魚類」 12.3-2005.4.17 速報展示「2004年10月23日新潟県中越地震」</p>	<p>2.5 普及講演会「巨大津波の痕跡を探る」 3.1-3.31 第3回「地質写真」コンテスト</p>
<p>2005 (平成17)</p>		

<p>3.26 第14回 自分で作ろう!!化石レプリカ「代表的な化石4種」 4.1 地質標本館に副館長、運営チーム、学芸チーム、試料管理調製チームを設置 4.19-7.18 春の特別展「東日本の滝と地質—北中康文写真展—」 4.23 科学技術週間特別講演会「滝撮影の魅力」・「滝はおもしろい」 7.9-10.30 速報展示「石綿(アスベスト)」(第2展示室) 7.23 新規展示「匠の技・石の心」(1階ホール) 7.23 夏の特別講演会「人の暮らしと自然を結ぶ—地質図の世界—」 7.23 普及講演会「関東平野の地震動」 7.23-9.25 夏の特別展「地質図の世界—人の暮らしと自然を結ぶ—」 7.23-12.27 速報展示「福岡県西方沖地震調査報告」 7.30 体験学習「石を割ってみよう!」 8.19 夏休み体験学習「化石のクリーニング」 8.20 夏休み地球何でも相談 8.26 普及講演会「アスベスト講演会」アスベストを生み出す地質・「繊維状になる鉱物」・「アスベストによる健康被害」 10.4-12.27 秋の特別展「地質情報展2005きょうと 大地が語る5億年の時間」(第1期～第3期) 10.29 開館25周年記念イベント「本物そっくりの化石レプリカをつくらう」・「石を割ってみよう」・「砂を鳴らそう」・「砂の芸術(砂変幻)」 野外観察会「古東京湾の地層と化石—太古の渚で潮干狩り—」(子どもと自然学会共催) 11.12 第15回 自分で作ろう!!化石レプリカ「古生代の化石」</p>	<p>6.28 第1回GSJシンポジウム「高く美しい石油時代が来た」(東京) 6.29 第2回GSJシンポジウム「地震考古学の果たす役割」(東京) 9.18 「地質情報展」が日本地質学会表彰 9.18-20 地質情報展2005きょうと / 大地が語る5億年の時間(とき)(京都市) 11.29 第3回GSJシンポジウム「付加体と土木地質—地質図の有効性と限界—」(東京)</p>	<p>3.28 スマトラ島沖地震 M8.6 4.1 産総研第2回中期計画開始 4.18 科学技術週間に「一家に1枚」シリーズ発行開始「元素周期表」 5.25 日本地球惑星科学連合発足 7.9 海洋開発研究機構の地球深部探査船「ちきゅう」竣工 7.23 産総研つくばセンター—一般公開 8.24 つくばエクスプレス開通 10.8 パキスタン北部カンミール地方地震 M7.6 11.20, 11.26 小惑星探査機「はやぶさ」小惑星「イトカワ」に着地サンプル採取</p>
<p>1.26-4.16 冬の特別展「日独共同企画「日本の地質学の草創期と現在の地質学—ナウマン来日130周年—」 3.26 第16回 自分で作ろう!!化石レプリカ「ビカリア」 3.26 普及講演会「ドイツ人地質学者ナウマンと日本の地質学の発展—そして今—」(「ナウマン—日本の地質学の草創期」・「過去(2000万年前)にさかのぼって今(地震防災)を知る」・「ドイツに因んだ鉱物」) 3.31 展示改修アイムレット設置(全館32ヶ所) 4.18-7.17 春の特別展「日本列島の20億年—白尾元理写真展—」 4.22 科学技術週間特別講演会「日本列島の骨格をなす付加体」・「デジタルで撮る地学写真」 7.22 入館者70万人達成 7.22 夏の特別講演会「砂の世界へようこそ」・「美しい砂と楽しく遊ぼう!」 7.22-9.24 夏の特別展「美しい砂の世界—不思議な砂・美しい砂・役に立つ砂—」 8.25 夏休み体験学習「化石のクリーニング」 8.26 夏休み地球何でも相談 9.3 地質標本館編集「地球 図説アースサイエンス」(誠文堂新光社)発行 9.25 展示改修「鷺ヶ浦の歴史」・「鉱物資源の需要供給情報のカラーコレクション」(第2展示室)、新規展示「鉱物詳細3D画像」モニター設置(第2展示室)・「三宅島周遊飛行」モニター設置(第3展示室) 10.3-11.12 秋の特別展「人類と社会の未来をつなぐ地質時代—日本の第四紀研究50年—」 10.14 普及講演会「千葉県袖ヶ浦市の脊椎動物化石群と共産化石からみた古環境」・「日本列島の旧石器文化」, 石器製作実演</p>	<p>1.17 第4回GSJシンポジウム「次の南海・東南海地震にどう備えるか」[震災対策技術展神戸会場内](神戸市) 1.25 第5回GSJシンポジウム「社会のための地球科学—日本とドイツの地球科学における交流—」[日本におけるドイツ2005/2006](共用講堂) 5.14-18 日本地球惑星科学連合2006年大会にGSJブース出展開始(千葉市) 9.15-17 地質情報展 2006 こうち / 黒潮よせるさとの地質(高知市) 10.20 産総研サイエンスカフェ「地下水で地震を予知する」(つくば市) 11.14 第6回GSJシンポジウム「地質情報の社会貢献を考える」(東京)</p>	<p>3.21 雌阿寒岳噴火 4.1 産総研にワイドキャリアスタップ制度 5.12-13 岐阜県揖斐川町の地すべり 5.14-18 日本地球惑星科学連合2006年大会 5.27 ジャワ島中部地震 M6.3 7.7 ジャワ島南西沖地震 M7.7 7.22 産総研つくばセンター—一般公開 9.17-21 第2回世界ジオパークネットワーク会議(英 国ベルファスト)</p>

<p>10.28 野外観察会「笠間市周辺の岩石と鉱物―稲田花こう岩採石場と桂村の珪化木―」          11.11 第17回 自分で作ろう!!化石レブリカ「生きている化石」          11.21-2007.3.4 冬の特別展「地質情報展2006こうち 黒潮よせるふるさとの地質」</p>	<p>2007 (平成19)</p>	<p>3.13-4.1 第4回「地質写真」コンテスト          3.24 第18回 自分で作ろう!!化石レブリカ「恐竜の歯」          4.17-7.16 春の特別展「つくばの自然再発見―フィールドに行こう!―」          4.21 科学技術週間特別講演会「つくばの地形環境」          4.24-9.30 遠報展示「2007年能登半島地震調査報告」          5.25 地質標本館編集「地球 図説アースサイエンス」(誠文堂新光社)2刷          5.27 野外観察会「地形を見る目をつくばで磨こう」          7.21 夏の特別講演会「火山噴火に備えて―2000年三宅島噴火を体験して―」          7.21-9.24 夏の特別展「三宅島火山―その魅力と噴火の教訓―」          8.1 展示改修「生きている化石」(第1展示室)          8.24 夏休み体験学習化石のクリーニング          8.25 夏休み地球何でも相談          9.26-12.2 秋の特別展「デスマスチルス歌登標本 世界一の全身化石発見から30年」          10.14 普及講演会「謎の絶滅哺乳類 デスマスチルスの復元」          11.10 第19回 自分で作ろう!!化石レブリカ「デスマスチルスの歯」          12.4-2008.3.16 冬の特別展「地質情報展2007北海道 探検! 熱くゆたかなぼくらの大地」</p>	<p>4.1 深部地質環境研究センターが終了し、深部地質環境研究コアが発足          6.11 第7回GSJシンポジウム「地質学から地震の予測を目指す―産総研における地震研究―」(東京)          7.25 第8回GSJシンポジウム「公共財としての地質地盤情報―ボーリングデータの整備と活用―」(東京)          9.7-9 地質情報展2007北海道「探検!熱くゆたかなぼくらの大地」(札幌市)          12.19 第9回GSJシンポジウム「地質学的手法による火山活動予測―火山災害の軽減を目指して―」(東京)</p>	<p>1.22 IYPEシンポジウム「国際惑星地球年2007-2009」開催宣言式典          3.25 能登半島沖地震 M6.9          4.1 産総研にシニアスタッフ制度          4.16 科学技術週間「一家に1枚 宇宙図 2007」発行          6.19 東京都渋谷区の温泉施設でガス爆発事故          7.16 新潟県中越沖地震 M6.8          7.21 産総研つくばセンター―一般公開          8.15 ペルー沖地震 M8.0          9.4 オールドイニョ・レンガイ(タンザニア)噴火          9.12 スマトラ島沖地震 M8.5          10.7-15 第1回国際地学オリンピック(韓国 Daegu およびYeongwol)</p>	<p>5.10 第1回地質の日          5.12 中国四川大地震 M7.9          5.28 第1回日本ジオパーク委員会(GSJIに事務局)          6.14 岩手県・宮城県内陸地震 M7.2          6.22-26 第3回世界ジオパークネットワーク会議(ドイツOsnabrück)          7.24 岩手県沿岸北部の地震 M6.8          8.6-14 第33回万国地質学会(オースロ)          8.19 白馬大雪渓で斜面崩壊          8.22 霧島山新燃岳噴火          8.31-9.6 第2回世界地学オリンピック(フィリピン、マニラ大学ほか)          9.4 第2回日本ジオパーク委員会          10.20 第3回日本ジオパーク委員会(世界ジオパークネットワーク加盟申請3地域決定)          12.8 第4回日本ジオパーク委員会(日本ジオパークに7地域認定)          12.10 南部陽一郎氏・小林 誠 高氏・益川敏英氏にノーベル物理学賞、下村 脩氏にノーベル化学賞</p>
<p>3.19-6.29 春の特別展「青柳鉱物標本の世界」          3.22 第20回 自分で作ろう!!化石レブリカ「新生代動物の歯」          3.31 新規展示「地質の世界」モニター(第1展示室、2階休憩所の歯)          4.15 文部科学大臣表彰 青木正博館長(科学技術賞 理解増進部門「地質標本館活動を通じて地球科学や地下資源に関する理解増進」)          4.19 科学技術週間特別ポイント解説・ミニ講演会          4.20 科学技術週間特別講演会「鉱物の楽しみ」          5.10 地質の日記念体験学習「黄鉄鉱ひろい―粘土の中からきれいな黄鉄鉱を見つけよう!―」          5.10 地質の日記念「研究者によるポイント展示解説」          5.17 地質の日記念野外観察会「筑波山へ行こう ～石が語る自然の歴史～」          6.1 展示更新「最近1ヶ月の地震の震源分布」(1階ホール)          6.29 普及講演会「鉱物種一覧表のいろいろ」          7.18 新規展示「珪化木」(屋外)          7.24 新規企画「標本館クイズ」          7.26 夏の特別講演会「プレート沈み込みでできた日本列島―深海掘削と潜水調査でわかったこと―」          7.26-9.28 夏の特別展「地球の記憶を掘り起こせ! 深海掘削がさぐる地球の不思議―IODP普及とキャンペーン―」          8.22 夏休み体験学習「化石のクリーニング」          8.23 夏休み地球何でも相談</p>	<p>2008 (平成20)</p>	<p>2.22 第8回産総研サイエンスカフェ「日本の水、世界の水、―このままでいいの? 水の使い方―」(つくば市)          3.11 第10回GSJシンポジウム「地質リスクとリスクマネージメント―地質事象の認識における不確実性とその対応―」(東京)          3.19 第11回GSJシンポジウム「地下水のさらなる理解に向けて～産総研のチャレンジ～」(東京)          4.1 GSJ代表に加藤碩一(産総研フェロー)          4.14-5.12 地質の日記念展示「5月10日は地質の日 シームレス地質図・地質図類パネル」(経済産業省本館ロビー)          5.8 第12回GSJシンポジウム「地下水と岩石物性との関連の解明～産総研のチャレンジ～」(東京)          7.26 産総研つくばセンター―一般公開          9.19-21 地質情報展2008 あきた「発見・体験!地球からのおくりもの」(秋田市)          10.20-21 産総研オーブンラボ          12.26 第13回産総研サイエンスカフェ「温泉と金鉱脈を結ぶ赤い糸」(つくば市)</p>	<p>2.22 第8回産総研サイエンスカフェ「日本の水、世界の水、―このままでいいの? 水の使い方―」(つくば市)          3.11 第10回GSJシンポジウム「地質リスクとリスクマネージメント―地質事象の認識における不確実性とその対応―」(東京)          3.19 第11回GSJシンポジウム「地下水のさらなる理解に向けて～産総研のチャレンジ～」(東京)          4.1 GSJ代表に加藤碩一(産総研フェロー)          4.14-5.12 地質の日記念展示「5月10日は地質の日 シームレス地質図・地質図類パネル」(経済産業省本館ロビー)          5.8 第12回GSJシンポジウム「地下水と岩石物性との関連の解明～産総研のチャレンジ～」(東京)          7.26 産総研つくばセンター―一般公開          9.19-21 地質情報展2008 あきた「発見・体験!地球からのおくりもの」(秋田市)          10.20-21 産総研オーブンラボ          12.26 第13回産総研サイエンスカフェ「温泉と金鉱脈を結ぶ赤い糸」(つくば市)</p>	<p>4.1 深部地質環境研究センターが終了し、深部地質環境研究コアが発足          6.11 第7回GSJシンポジウム「地質学から地震の予測を目指す―産総研における地震研究―」(東京)          7.25 第8回GSJシンポジウム「公共財としての地質地盤情報―ボーリングデータの整備と活用―」(東京)          9.7-9 地質情報展2007北海道「探検!熱くゆたかなぼくらの大地」(札幌市)          12.19 第9回GSJシンポジウム「地質学的手法による火山活動予測―火山災害の軽減を目指して―」(東京)</p>	

<p>2009 (平成21)</p>	<p>2.17 新規展示「流紋岩」(屋外) 3.3 新規展示「教科書に出てくる岩石・鉱物」(1階ホール) 3.3-4.5 第5回地質写真コンテスト 3.21 第21回 自分で作ろう!! 化石レプリカ「中生代の化石」 3.31 新規設置「鉱物・岩石ケース照明LED」(第4展示室) 4.1 第10代館長 佃 栄吉(GSJ研究コーディネーター等兼務) 4.14-7.5 春の特別展「五百澤 智也 山のスケッチとフィールドノート」 4.19 科学技術週間特別講演会「地質探偵ハラヤマと探る槍穂高連峰の生い立ち」 4.23 新規企画「地球カレンダーで化石を探そう」(館内クイズ) 5.9 地質の日関連体験イベント「作って学ぼう! デスマスチルスのペーパークラフト」 5.10 地質の日関連特別講演会と展示解説「氷河の痕跡を探せ! -北アルプスの氷河地形調査-」 5.16 地質の日関連野外観察会「霞ヶ浦は昔、海だった?」 7.22-9.27 夏の特別展「ジオパークへ行こう!」 7.25 夏の特別講演会「地球はもっとおもしろい! -ジオパークへ行こう-」 8.4 新規企画「プレートテクトニクスのツボ」(第2展示室) 8.21 夏休み化石クイズ体験教室 8.22 夏休み地球何でも相談 9.11 新規企画「足跡から恐竜の大きさがわかる?」(第1展示室) 9.26 夏の特別展関連野外観察会「筑波山のなりたちと花こう岩のでき方を考えよう」(ジオパークつくば共催) 11.17-2010.1.11 秋の特別展「日本石紀行-写真家・須田郡司の世界-」 11.21 特別講演会「日本石巡礼」 11.21 地質標本館カフェ「石の語りべ」(つくば市)</p>	<p>2.2 浅間火山噴火 3.29 第1回日本地学オリンピック本選(東京大学) 4.1 産総研理事長 野間口 有 6.12 千島列島マツア島サリチエフ火山大規模噴火 7.10 第5回日本ジオパーク委員会 7.21 山口県防府市で土石流 7.25 産総研つくばセンター一般公開 8.11 静岡地震M6.5 8.23 洞爺湖有珠山、糸魚川、島原半島が世界ジオパークに認定 9.14-22 第3回国際地学オリンピック(台北) 9.29 サモア沖地震M8.1 9.30 スマトラ島沖地震M7.5 10.15-16 産総研オーブンラボ 10.28 第6回日本ジオパーク委員会(3地域を日本ジオパークに認定)</p>	<p>1.12 ハイチ地震 M7.0 2.27 チリ地震 M8.8 3.20 エイファイヤトラヨクトル(アイスランド)の火山噴火 3.10 第7回日本ジオパーク委員会 3.24-26 第2回日本地学オリンピック本選(つくば市) 3.27-28 国際惑星地球年(IYPE)終了記念「惑星地球フォーラムinアキバ」 4.1 産総研第3期中期計画開始 4.6 スマトラ島沖地震 M7.8 4.10 中国青海省の地震M6.9 4.12-16 第4回世界ジオパークネットワーク会議(マレーシア)</p>
<p>2010 (平成22)</p>	<p>2.26 第13回GSJシンポジウム「海城・沿岸域の資源・環境・防災-持続的発展に向けた海洋地質研究-」(東京) 4.1 活断層研究センターが終了し、活断層・地震研究センターが発足 4.20-5.11 地質の日関連展示「鉱物資源」(経産省本館ロビー) 6.15 第14回GSJシンポジウム「地質リスクとリスクマネジメントその2」-海外の事例と国内での新たな取り組み- (東京) 7.2 第15回GSJシンポジウム「古地震と現在の地殻活動から地震を予測する-産総研活断層・地震研究センターが目指す地震研究-」(東京) 2011年度開始、GSJに事務局 9.5-6 地質情報展 2009 おかやま-ワクワク・発見瀬戸の大地- (岡山市) 9.11 第1回GNTサイエンスカフェ「身近な水から考える環境と暮らし」(つくば市) 9.26 第1回GNT野外観察会(つくば市ほか) 10.7 第2回GNTサイエンスカフェ(つくば市) 10.16 第3回GNTサイエンスカフェ(つくば市) 10.30 第4回GNTサイエンスカフェ(つくば市) 11.7 第2回GNT野外観察会(筑波山) 11.13 第5回GNTサイエンスカフェ(つくば市) 11.27 第6回GNTサイエンスカフェ(つくば市) 12.12 第3回GNT野外観察会(筑波山) 12.18 第7回GNTサイエンスカフェ(つくば市)</p>	<p>1.15 第8回GNTサイエンスカフェ(つくば市). 1.23 第4回GNT野外観察会(つくば市) 2.5 第9回GNTサイエンスカフェ(つくば市) 2.19 第10回GNTサイエンスカフェ(つくば市) 2.27-28 GNTイベント「つくばアースデー」(つくば市) 3.12 第11回GNTサイエンスカフェ(つくば市) 4.19-5.10 地質の日関連展示「ジオパーク」(経産省本館ロビー) 5.9 第12回GNTサイエンスカフェ(共用講堂・地質標本館) 6.5 第5回GNT野外観察会(筑波山麓) 6.25 第13回GNTサイエンスカフェ(つくば市) 7.25 第14回GNTサイエンスカフェ(つくば市) 8.28 第15回GNTサイエンスカフェ(共用講堂)</p>	<p>2.2-3.28 特別展示「地質情報展2009おかやま ワクワク発見 瀬戸の大地」 3.20 第22回 自分で作ろう!!化石レプリカ「生きてる化石 イチョウとメタセコイア」 3.31 展示改修「元素の周期表」(第2展示室), 「隕石コーナー」(第1展示室), 「鉱物・岩石ケース照明LED化」(第4展示室) 4.13-7.11 春の特別展「揺れる日本列島」 4.18 科学技術週間特別講演会「未知の巨大地震の証拠を求めて地球の果てまで」 5.9 地質の日関連体験イベント「水晶拾い-砂の中から水晶を見つけよう! -」・「地盤の液化化簡易実験:エキゾッカー」・「元素の周期表展示ポイント解説」 6.22- ミニ展示「リチウム資源-電子時代を支えるレアメタル-」 7.21-9.26 夏の特別展 巡回展「有珠火山-その魅力と噴火の教訓-」 7.24 夏の特別講演会「火山噴火災害の現場から」 8.19-21 開館30周年記念行事</p>

<p>8.20 夏休み化石クリューニング体験教室 8.21 夏休み地球何でも相談 10.1 組織再編により地質分野の研究推進組織となり、地質標本館(第11代館長:利光誠一)に、副館長、企画運営グループ、アウトリーチ推進グループ、地質試料管理調製グループを設置し、あわせて地質試料管理チームと地質試料調製チームを登録 11.16-2011.1.30 秋の特別展「イーハトーブの石たち—宮澤賢治の地的世界—」 11.27 特別展開連イベント「イーハトーブ火山のペーパークラフトをつくろう」、朗読会「榎ノ木大学の野宿、第一夜 火山」 12.1 放射性鉱物管理棟およびボーリングコア管理棟完成</p>	<p>9.18-19 地質情報展 2010 とやま—海・山ありて富める大地—(富山市) 10.1 組織改編により、分野制(6分野)が明示され、地質分野研究統括、副研究統括、地質分野研究企画室を置く 10.17 第7回GNT野外観察会(つくば市) 10.23 第6回GNT野外観察会(筑波山麓) 10.29 第16回GNTサイエンスカフェ(つくば市) 11.6 第17回GNTサイエンスカフェ(つくば市) 11.16 第16回GSJシンポジウム「20万の1地質図幅完全完備記念シンポジウム—全国完備後の次世代シームレス地質図を目指して—」(東京) 11.28 第8回GNT野外観察会(つくば市、ほか) 12.3 第18回GNTサイエンスカフェ(つくば市)</p>	<p>9.18-19 地質情報展 2010 とやま—海・山ありて富める大地—(富山市) 10.1 組織改編により、分野制(6分野)が明示され、地質分野研究統括、副研究統括、地質分野研究企画室を置く 10.17 第7回GNT野外観察会(つくば市) 10.23 第6回GNT野外観察会(筑波山麓) 10.29 第16回GNTサイエンスカフェ(つくば市) 11.6 第17回GNTサイエンスカフェ(つくば市) 11.16 第16回GSJシンポジウム「20万の1地質図幅完全完備記念シンポジウム—全国完備後の次世代シームレス地質図を目指して—」(東京) 11.28 第8回GNT野外観察会(つくば市、ほか) 12.3 第18回GNTサイエンスカフェ(つくば市)</p>	<p>1.14 第19回GNTサイエンスカフェ(共用講堂) 2.26 GNTイベント「第1回ジオネットの日」(つくば市) 2.28 第17回GSJシンポジウム「地質情報法の整備を目指して」(東京) 3.1 地質ニュース発行終了 4.1 地質分野副研究統括 田 栄吉がGSJ代表となる 4.15 渡辺真人・吉川敏之・濱崎聡志 ジオパーク推進事業の功績で平成23年度文部科学大臣表彰 科学技術賞を受賞 5.28 第20回GNTサイエンスカフェ(つくば市) 6.24 第21回GNTサイエンスカフェ(つくば市) 7.18 GNTジオマスタースター育成開始(第1回セミナー) 8.6 第9回GNT野外観察会(筑波山) 8.27 GNTジオマスタースター中級第2回セミナー 8.27 第22回GNTサイエンスカフェ(つくば市) 9.10-11 地質情報展 2011 みと—未来に活かそう大地の鳴動—(水戸市) 9.30 第23回GNTサイエンスカフェ・第1回ジオカフェ(つくば市)</p>
<p>5.9 スマトラ島沖地震 M7.2 5.23 第8回日本ジオパーク委員会 5.27 グアテマラのパカヤ火山噴火 6.13 小惑星探査機「はやぶさ」帰還 7.4-8 鹿児島県南大隅町で斜面崩壊・土石流 7.15 岐阜県南部で斜面崩壊・氾濫 7.16 広島県庄原市土砂災害 7.24 産総研つくばセンター一般公開 8.22 第1回「ジオパークの日」 8.22-23 第1回日本ジオパーク全国大会(新潟県糸魚川市) 8.30 インドネシアのシナブン山噴火 9.4 クライストチャーチ地震 M7.1 9.14 第9回日本ジオパーク委員会(3地域を日本ジオパークに認定) 9.19-28 第4回国際地学オリンピック(インドネシア、ジョグジャカルタ) 10.3 山陰海岸が世界ジオパークに認定 10.14-15 産総研オーブンラボ 10.25 スマトラ島沖地震 M7.7 10.26 インドネシアのムラピ山噴火 10.28 ロシアのクリュチエフスカヤ山とシベルチ山が同時噴火 12.10 鈴木 章氏・根岸英一氏にノーベル化学賞</p>	<p>1.26 霧島山新燃岳噴火 2.22 クライストチャーチ地震 M6.1 3.1 第10回日本ジオパーク委員会 3.11 東北地方太平洋沖地震 M9.0(東日本大震災) 3.11 福島第一原発事故 4.18 科学技術週間に「一家に1枚 磁場と超伝導」発行 5.23 第11回日本ジオパーク委員会 6.11-12 第3回日本地学オリンピック本選(東京大学、中止による) 7.23 産総研つくばセンター一般公開 8.24 アメリカ合衆国東部で地震 M5.8 9.5 第12回日本ジオパーク委員会(6地域を日本ジオパークに認定) 9.3 台風12号紀伊半島で土砂災害 9.5-14 第5回国際地学オリンピック(イタリア、モナコ) 9.18 室戸地域が世界ジオパークに認定</p>	<p>1.22 特別展開連イベント「イーハトーブ火山のペーパークラフトをつくろう」、朗読会「榎ノ木大学の野宿、第二夜 岩石・鉱物」 2.6 第2回地質標本館カフェ「レブリカで化石の研究?」 2.8-(震災のため3.11で中止) 特別展示「地質情報展2010とやま 海・山ありて富める大地」 2.8-2012.3.31 ミニ展示「霧島山新燃岳 2011年噴火 速報」 3.11~4.18 震災により閉館 4.19-2012.3.31 平成23年度 東北地方太平洋沖地震速報展示 5.8 地質の日記念イベント「ポップアップカードを作ろう」 6.4 新規展示「日立産鍾乳石」(屋外) 7.21-9.26 夏の特別展 巡回展「世界石紀行」 7.23 夏の特別講演会「世界石紀行—地球の記憶を訪ねる—」 8.20 地質標本館夏休みイベント「石をみがいてみよう」 8.26 夏休み化石クリューニング体験教室 8.27 夏休み地球何でも相談 11.23 新規展示「宮城県産三量二枚貝モノノス」(屋外) 11.30 新規展示「高知県津見川産紅簾石石英片岩」(屋外)</p>	<p>1.26 霧島山新燃岳噴火 2.22 クライストチャーチ地震 M6.1 3.1 第10回日本ジオパーク委員会 3.11 東北地方太平洋沖地震 M9.0(東日本大震災) 3.11 福島第一原発事故 4.18 科学技術週間に「一家に1枚 磁場と超伝導」発行 5.23 第11回日本ジオパーク委員会 6.11-12 第3回日本地学オリンピック本選(東京大学、中止による) 7.23 産総研つくばセンター一般公開 8.24 アメリカ合衆国東部で地震 M5.8 9.5 第12回日本ジオパーク委員会(6地域を日本ジオパークに認定) 9.3 台風12号紀伊半島で土砂災害 9.5-14 第5回国際地学オリンピック(イタリア、モナコ) 9.18 室戸地域が世界ジオパークに認定</p>



<p>10.28 第24回GNTサイエンスカフェ・第2回ジオカフェ(つくば市)</p> <p>11.13 GNTジオマイスター中級第1回野外実習</p> <p>11.19 第25回GNTサイエンスカフェ 土木の日スペシャル(つくば市)</p> <p>11.23 GNTジオマイスター中級第3回セミナー</p> <p>12.3 GNTジオマイスター中級第2回野外実習</p> <p>12.22 GSNニュースレター発行終了</p>	<p>9.29-10.1 第2回日本ジオパーク全国大会(北海道伊達市ほか)</p> <p>10.13-14 産総研オープンラボ</p> <p>10.23 トルコ東部の地震M7.2</p>
<p>1.12 第18回GSJシンポジウム「地質学で読み解く過去の巨大地震と将来の予測—どこまでわかったか—」(東京)</p> <p>1.15 GSJ地質ニュース創刊(月刊)</p> <p>1.28 第26回GNTサイエンスカフェ(つくば市)</p> <p>1.31 第19回GSJシンポジウム「社会ニーズに添える地質地盤情報—都市平野部の地質地盤情報をめぐる最新の動向—」(東京)</p> <p>2.26 GNTイベント「ジオネットの日」・第10回GNT野外観察会(つくば市)</p> <p>3.31 GNTへのJST支援終了</p> <p>4.1 GSJ代表に佃 栄吉(地質分野担当理事)が就任</p> <p>4.16-5.11 地質の日記念展示「地中熱利用・地熱発電」(経産省本館ロビー)</p> <p>9.15-17 地質情報展2012おおさか—過去から学ぼう大地的のしくみ—(大阪市)</p>	<p>1.31 海洋資源探査船「白瀬」竣工</p> <p>2.28 第13回日本ジオパーク委員会</p> <p>3.7 新潟県上越市で地すべり</p> <p>3.24-26 第1回科学の甲子園(西宮市)</p> <p>3.25-27 第4回日本地学オリンピック本選(つくば市)</p> <p>4.16 科学技術週間に「一家に1枚 太陽」発行</p> <p>5.6 つくば市で竜巻</p> <p>5.12-15 第5回世界ジオパークネットワーク会議(長崎県)</p> <p>5.20 第14回日本ジオパーク委員会</p> <p>5.24 南魚沼市八幡峠トンネル 工事現場でガス爆発事故</p> <p>7.12 阿蘇カルデラ北東部で斜面崩壊</p> <p>7.21 産総研つくばセンター一般公開</p> <p>8.5-10 第34回万国地質学会(プリズベン)</p> <p>8.23 筑波山地域ジオパーク推進協議会が発足</p> <p>9.24 第15回日本ジオパーク委員会(5地域を日本ジオパークに認定)</p> <p>10.8-18 第6回国際地学オリンピック(アルゼンチン、オラハリア)</p> <p>10.25-26 産総研オープンラボ</p> <p>11.2-5 第3回日本ジオパーク全国大会(高知県室戸市)</p> <p>12.10 山中伸弥氏にノーベル医学生理学賞</p>
<p>1.24-3.25 特別展示「地質情報展2011みと—未来に活かそう大地の鳴動—」</p> <p>3.16 第23回 自分で作ろう!!北石レブリカ「ウミサソリ」</p> <p>3.31 展示改修 鉱物・岩石展示ケース硝子戸交換(第4展示室)</p> <p>4.1 業務見直しに伴うグループ再編により、企画運営グループ、地質試料管理グループ、地質試料調製グループの3グループとなる</p> <p>4.17-7.1 日本・オーストラリア国交樹立40周年特別企画展「砂漠を歩いてマントルへ—中東オマーンの地質探訪—」</p> <p>4.20 新規展示「ジオグリッド大型タイル衛星画像」(1階ホール)</p> <p>4.22 特別企画展オープンニングセレモニー・特別講演会開催(駐日オマーン大使ほか来賓多数)</p> <p>5.8 展示更新「薄片コーナー」(第3展示室)</p> <p>5.12 地質の日記念イベント「作って学べる! 工作コーナー」</p> <p>7.18-9.30 夏の特別展「ミクロな化石で地球をさぐる—微化石と地質調査—」</p> <p>7.21 夏の特別講演会「ジオパークへ行こう!」</p> <p>7.21 夏の特別講演会「放散虫が紡ぐ日本列島の物語」</p> <p>8.3 夏休みイベント「石をみがいてみよう!!」</p> <p>8.17 地質試料調製グループのホームページ公開</p> <p>8.24 夏休み化石クイズ・クイズ体験教室</p> <p>8.25 夏休み地球何でも相談</p> <p>10.3-4 日本岩石鉱物特殊技術研究会つくば大会共催</p> <p>10.13 野外地質観察会「フズリナの化石を探してみよう! ~葛生の石灰岩の観察と鉱山見学~」</p> <p>10.16-12.27 秋の特別展「知的基盤整備・利用促進プログラム~今後10年の地質情報整備~」</p>	<p>1.22 第20回GSJシンポジウム「地質学は火山噴火の推移予測にどう貢献するか」(東京)</p> <p>3.3 GNTイベント「ジオネットの日」(つくば市)</p> <p>4.15-5.10 地質の日記念展示「知的基盤整備と地質調査研究」(経産省本館ロビー)</p>
<p>2013 (平成25)</p> <p>1.5-3.31 特別展示「地質情報展2012おおさか—過去から学ぼう大地的のしくみ—」</p> <p>2.26 第3回地質標本館カフェ 朗読会 宮澤賢治「槽ノ木大学生の野宿」—イーハートの石たち—</p> <p>3.16 第24回 自分で作ろう!!北石レブリカ「三葉虫」</p>	<p>1.28 第16回日本ジオパーク委員会</p> <p>3.23-25 第2回科学の甲子園(西宮市)</p> <p>3.24-26 第5回日本地学オリンピック本選(つくば市)</p> <p>4.1 産総研理事長 中鉢良治</p>



	<p>4.15 展示更新「リモートセンシング」(第3展示室前)          4.16-5.31 春の特別展「第3回火山巡回展『霧島火山』—ボラ(軽石)が降ってきた! 新燃岳の噴火とその恵み—」          4.20 科学技術週間特別講演会「霧島火山新燃岳噴火の謎にせまる」          5.11 地質の日記念イベント「作って学べる! 工作コーナー」          7.13 展示更新「震源分布表示」(1階ホール天井; 2011年4月までの震源の表示)、「地盤液状化はぎ取り標本(千葉県神崎町産)」(第3展示室); 新規展示「活断層大型はぎ取り標本」(1階ホール); 「地中熱実証試験」(映像室)          7.17-9.29 夏の特別展「地球の恵み 地熱・地中熱エネルギーを活用しよう」          7.20 入館者100万人達成(記念品贈呈)          7.20 夏の特別講演会「地中熱利用の現状と展望」          8.3 夏休み体験イベント「石をみがいてみよう」          8.23 夏休み化石クリーニング体験教室          8.24 夏休み地球なんでも相談          10.5 野外地質観察会「茨城県県北地域の化石産地を訪ねて」(国立科学博物館共催)          11.12-2014.2.2 特別展示「地質情報展2013みやぎ—大地を知って明日を生かす—」</p>	<p>7.10 第21回GSJシンポジウム「古地震・古津波から想定する南海トラフの巨大地震」(東京)          9.14-16 地質情報展2013みやぎ—大地を知って明日を生かす—(仙台市)          10.1 福島再生可能エネルギー研究センター発足に伴い、地熱チーム、地中熱チームが同センターに設置          11.30 第22回GSJシンポジウム「アカデミックから身近な地質情報へ」(東京)</p>	<p>4.13 淡路島付近の地震M6.3          4.15 科学技術週間に「一家に1枚 鉱物—地球と宇宙の宝物—」発行          5.20 第17回日本ジオパーク委員会公開プレゼンテーション(千葉市)          7.20 産総研一般公開          8.26 諏訪之瀬島御岳噴火          9.10 隠岐地域が世界ジオパークに認定          9.11-19 第7回国際地学オリンピック(インド、マイソール)          9.24 第18回日本ジオパーク委員会(7地域を日本ジオパークに認定)          10.15-18 第9回日本ジオパーク全国大会(島根県隠岐の島町)          10.16 伊豆大島西部で斜面崩壊          10.31-11.1 産総研オープンラボ          11.20 西之島火山噴火          12.16 第19回日本ジオパーク委員会(1地域を日本ジオパークに認定)          12.21-22 第1回科学の甲子園ジュニア(東京)</p>
<p>2014 (平成26)</p>	<p>3.2 展示改修「岩石のできるところ」点字解説シール(第1展示室)          3.4-6.29 春の特別展「地質の目でみる地震災害の連鎖」          3.15 第25回 自分で作ろう!化石レプリカ 「中生代爬虫類の歯」          3.19 展示改修「ダイナミックアース大型モニター」(第3展示室)          3.25 新規展示「仙台平野の津波堆積物大型はぎ取り標本」(1階ホール)          4.19 科学技術週間特別講演会「巨大地震に伴う地下水のリスク」・「土壌・地下水汚染—古くて新しい環境問題—」, 体験イベント「実験で学ぶ、火山と地震」          5.10 地質の日関連体験イベント「作って学べる! 工作コーナー」          7.1 展示改修「地熱発電」(第3展示室)          7.15-10.13 夏の特別展「地質アナログ模型の世界」          7.19 夏の特別講演会「ジオラマ模型で視る地質の世界」・「関東平野の地下旅行」          7.26 夏休み体験学習「石に光を通してみよう—万華鏡で知る花こう岩の色彩—」          8.22 夏休み化石クリーニング体験教室          8.23 夏休み地球なんでも相談          10.1-2016.9.8 緊急展示:御嶽山噴火緊急調査速報          10.25 野外観察会 地層と化石の観察会—霞ヶ浦周辺の化石産地を訪ねて—(国立科学博物館共催)          11.5-2015.3.22 特別展示「地質情報展 2014 かごしま —火山がおりなす自然の恵み—」</p>	<p>7.23 GNTイベント「ジオネットの日」(つくば市)          3.16 第27回GNTサイエンスカフェ(つくば市)          4.1 活断層・地震研究センターの終了により、活断層・火山研究部門が発足          5.6-5.30 地質の日関連展示「東北地方太平洋沖地震に よって引き起こされた複合的災害の解明」(経産省本館ロビー)          9.13-15 地質情報展2014かごしま—火山がおりなす自然の恵み—(鹿児島市)</p>	<p>7.27-31 第38回全国高等学校総合文化祭「いばらき文2014」(つくば市ほか)          3.21-24 第3回科学の甲子園(西宮市)          3.23-25 第6回日本地学オリンピック本選(つくば市)          4.30 第20回日本ジオパーク委員会公開プレゼンテーション(横浜)          7.9 長野県南木曾町で土石流          7.19 産総研つくばセンター—一般公開          8.3 口永良部島新岳噴火          8.20 広島市で土石流・斜面崩壊          8.28 第21回日本ジオパーク委員会(3地域を日本ジオパークに認定)          9.22-28 第8回国際地学オリンピック(スペイン・サントナデル)          9.23 阿蘇地域が世界ジオパークに認定          9.24 第21回日本ジオパーク委員会          9.27 御嶽火山噴火          9.27-29 第5回日本ジオパーク全国大会(長野県伊那市)          10.23-24 産総研テクノブリッジ・フェア          11.22 長野県北部の地震 M6.7          11.25 阿蘇火山中岳噴火          12.5-7 第2回科学の甲子園ジュニア(東京)          12.10 赤崎勇氏・天野浩氏・中村修二氏にノーベル物理学賞</p>

<p>12.22 第22回日本ジオパーク委員会(1地域を日本ジオパークに認定)</p>	<p>3.15-17 第7回日本地学オリンピック本選(つくば市) 3.21-23 第4回科学の甲子園(つくば市) 3.31 日本ジオパーク委員会事務局を日本ジオパークネットワークに移管 4.1 独立行政法人の取直しにより、国立研究開発法人産業技術総合研究所となり、第4期中期計画開始 5.29 口永良部島新岳噴火 6.29-7.1 箱根火山大涌谷小規模噴火 7.18 産総研つくばセンター一般公開 9.4 第24回日本ジオパーク委員会(3地域を日本ジオパークに認定) 9.10 茨城県常総市で鬼怒川が決壊 9.13-20 第9回国際地学オリンピック(ブラジル、ボス・デ・カルダス) 9.19 アポイ岳地域が世界ジオパークに認定 10.22-23 産総研テックノプリッジ・フェア 10.27-29 第6回日本ジオパーク全国大会(鹿児島県霧島市) 11.18 第38回ユネスコ総会で世界ジオパークがユネスコ正式事業化 12.6-8 第3回科学の甲子園ジュニア(東京) 12.10 梶田隆章氏にノーベル物理学賞、大村智氏にノーベル医学生理学賞</p>	<p>1.16 第23回GSJシンポジウム「日本列島の長期的地質変動の予測に向けた取り組みと今後の課題—数千万年の過去を解明し、将来を予測する技術・知見・モデル—」(東京) 3.1 GNTイベント「ジオネットの日」(つくば市) 4.1 地質調査総合センター(GSI)代表から地質調査総合センター長に、研究戦略部が設置され、その中に研究企画室・国際連携グループ・国内連携グループ、地質調査情報センターと地質標本館が統合され、地質情報基盤センター発足 5.7-5.29 地質の日関連展示「地質とその利活用・地質図Nav」(経産省本館ロビー) 9.11-13 地質情報展2015ながの—知っていますか信濃の大地—(長野市) 11.29 地層と化石の観察会—霞ヶ浦周辺の化石産地を訪ねて—(国立科学博物館共催) 12.21 第1回GSJジオ・サロン「模型でのぞくジオ・ワールド」(地質標本館)</p>	<p>2.1 第2回GSJジオ・サロン「化石のおいしい話」(地質標本館) 3.6 GNTイベント「ジオネットの日」(つくば市) 3.27 第3回GSJジオ・サロン「鉱物とあそぼう!—さあ、アケアリンの世界へ」(地質標本館) 4.16 第4回GSJジオ・サロン「石が息づく世界」(地質標本館) 5.30 第5回GSJジオ・サロン「ウエブカラ地質図」(地質標本館) 8.1 第6回GSJジオ・サロン「富士山を考える」(地質標本館) 9.10-12 地質情報展2016とうきょう—首都をささえる大地のしくみ—(東京)</p>	<p>2015 (平成27)</p>
<p>3.9 展示更新「リモートセンシング」(第3展示室前) 3.14 第26回 自分で作ろう!!!化石レプリカ「アンモナイト」 3.31 新規展示「海洋コーナー大型投影装置」、展示更新「海洋コーナー展示パネル」(第2展示室) 4.1 組織改編により地質標本館は地質情報基盤センターが所管し、地質標本館室を設置、その中に運営グループと地質試料調製グループを設置 4.1 地質標本館ホームページをリニューアル 4.14-6.28 春の特別展「第4回火山巡回展 伊豆大島火山—火山の恵みと2013年の土砂災害—」 4.19 科学技術週間特別講演会「火と水が出あう場所 伊豆大島」、体験イベント「実験で学ぶ火山」・「作って学べる! 工作コーナー」 7.14-9.27 夏の特別展「ジオパークで見る日本の地質」 7.18 夏の特別講演会「ジオパークへ行こう! 2015」～地質の楽しさはまだまだこれから!! 8.21 夏休み化石クリエーティング体験教室 8.22 夏休み地球なんでも相談 9.4 地質標本館室地質試料調製グループが「平成27年度日本粘土科学会技術賞」を受賞 9.25-27 展示改修「鉱物・岩石展示ケース照明LED化」(第4展示室) 10.5 展示更新「震源分布懸垂物撤去」(1階ホール天井) 10.16-11.23 臨時展示「1/20万日本シームレス地質図関東東地方拡大図床張り」・「都心部埋没谷模型」・「関東～近畿地方基盤深度模型」・「断層運動模型」・「地質ジオラマ」 11.13 県民の日スベシャルガイドツアー「茨城県民の日」は地質標本館へ行こう!! 12.1-2016.3.21 特別展示「地質情報展2015ながの—知っていますか 信濃の大地—」</p>	<p>1.13 地質標本館ウェブサイトを「おすすすめ標準ストーリー」の掲載開始 4.19-5.22 春の特別展・第7回「惑星地球フォトコンテスト」入選作展示会 4.21 地質標本館室運営グループ吉田(金子)清香が「平成28年度科学技術分野文部科学大臣表彰創意工夫功労賞」を受賞 4.23 科学技術週間特別講演会「地球を見た! 撮った!」 7.5 展示再開「日本列島周辺震源分布」(1階ホール天井) 7.5-7.18 臨時展示「泉の石」 7.20-10.2 夏の特別展「あの山の山どんな山?—「山の日」制定記念 日本の山の地質— 7.23 夏の特別講演会「地震ってなあに?—熊本地震をしらべています—」 8.19 夏休み化石クリエーティング体験教室 8.20 夏休み地球なんでも相談 9.17 筑波山地域ジオパーク認定記念体験イベント「筑波山の模型を作ろう!」</p>	<p>2.1 第2回GSJジオ・サロン「化石のおいしい話」(地質標本館) 3.6 GNTイベント「ジオネットの日」(つくば市) 3.27 第3回GSJジオ・サロン「鉱物とあそぼう!—さあ、アケアリンの世界へ」(地質標本館) 4.16 第4回GSJジオ・サロン「石が息づく世界」(地質標本館) 5.30 第5回GSJジオ・サロン「ウエブカラ地質図」(地質標本館) 8.1 第6回GSJジオ・サロン「富士山を考える」(地質標本館) 9.10-12 地質情報展2016とうきょう—首都をささえる大地のしくみ—(東京)</p>	<p>2016 (平成28)</p>	

<p>10.4-10.29 日本ジオパーク認定記念臨時展示「筑波山地域ジオパークを学ぼう！」          10.16 筑波山地域ジオパーク認定記念講演会「山と平野とジオパーク—筑波山地域ジオパークの地質—」          11.8-2017.1.15 冬の特別展「首都をささえる大地のしくみ—地質情報展2016とうきよう—」          12.21 展示更新「大型花崗岩移設」(屋外)</p>	<p>10.11 第7回GSJジオ・サロン「みんなの地質図」(地質標本館)          11.6-10 第1回地質調査研修          11.21 第8回GSJジオ・サロン「日本周辺のメタンハイドレート—なぜここにあるのか?—」(地質標本館)          12.19 第9回GSJジオ・サロン「金の魅力」(地質標本館)</p>	<p>9.24 日本鉱物科学会が日本の石(ひすい)選定          10.1 特定国立研究開発法人による研究開発等の促進に関する特別措置法により産業技術総合研究所ほか3機関を特定国立研究開発法人に指定          10.8 阿蘇火山中岳噴火          10.10-12 第7回日本ジオパーク全国大会(静岡県沼津市)          10.20-21 産総研テクノブリッジ・フェア          10.21 鳥取県中部の地震M6.6          11.8 福岡市博多駅前で陥没事故          11.14(日本時間11.13)ニュージーランド南島の地震M7.8          11.22 福島県沖の地震M7.4          11.30 113番目の元素の名称がニホニウムと正式決定          12.2-4 第4回科学の甲子園ジュニア(東京都江東区)          12.10 大隅良典氏にノーベル医学生理学賞          12.28 茨城県北部の地震M6.3</p>	<p>10.11 第10回GSJジオ・サロン「沖繩の青い海の下をのぞいてみよう」(地質標本館)          1.23 GeoBank(ジオバンク)募集開始(事業期間—2022.3.31まで)          2.20 第11回GSJジオ・サロン「見えない水—地下水の今昔—」(地質標本館)          3.18 第24回GSJシンポジウム「ようこそジオ・ワールドへ」(東京)          3.27 第12回GSJジオ・サロン「宇宙(そら)から地質」(地質標本館)          4.1 地質調査総合センター長 矢野雄策          5.1-5.31 地質の日関連展示「大都市の地下を探る」(経産省本館ロビー)          9.16-18 地質情報展2017えひめ—再発見 えひめの地質—(松山市)          9.21 第25回GSJシンポジウム「富士山5000mの科学—駿河湾北部の地質と自然を探る—」(静岡市)          10.10 第26回GSJシンポジウム「富士山5000mの科学—駿河湾北部の地質と自然を探る—」(東京)          10.13 第13回GSJジオ・サロン「日本列島地殻変動の謎に迫る」(東京)          11.6 2017年度地質調査研修          11.19 地層と化石の観察会—霞ヶ浦周辺の化石産地を訪ねて—(国立科学博物館共催)</p>	<p>1.17-2.26 新春特別展「ふるさとの新たな主役「島の石」」          1.24 展示更新「熊本地震震源表示」(1階ホール天井)          2.28-3.26 特別展示「GSJのピカイチ研究—2016年のプレスリリース、主な研究成果より—」          4.1 第12代館長 藤原 治          4.1 新規展示「筑波山地域ジオパーク関連コーナー」(2階テラス等)          4.4 地質標本館ホームページにキッズページ開設          4.4-6.4 春の特別展 地震・活断層巡回展「2016年熊本地震 活断層に備えよう」          4.22 科学技術週間特別講演会「熊本地震断層を掘ってみよ—活断層研究から見た日奈久断層帯の「履歴書」—」          7.1 化石クリーニング体験教室「植物化石から環境を探る」ビデオ上映会          7.11-10.1 夏の特別展「魅惑の鉱物—北川隆司鉱物コレクションと青柳・今吉鉱物標本—」          7.22 夏の特別講演会「鉱物が語る地球の進化」・「資源になる鉱物」          8.25 夏休み化石クリーニング体験教室          8.26 夏休み地球なんでも相談          9.16 地質試料調製グルーブの大和田 朗「日本地質学会功労賞」を受賞          10.17-12.27 秋の特別展「えひめの地質—四国の五億年—」          12.20 展示改修「地質図とは」(第1展示室)</p>	<p>3.12-14 第9回日本地学オリンピック本選(つくば市)          3.17-20 第6回科学の甲子園(つくば市)          4.17 伊豆半島地域が世界ジオパークに認定          7.5-6 豪雨 大分県日田市小野で斜面崩壊          7.22 産総研—つくばセンター—般公開          8.22-29 第11回国際地学オリンピック(フランス、コートダジュール)          10.11 霧島山新燃岳噴火再開          10.19-20 産総研テクノブリッジ・フェア          10.25-27 第8回日本ジオパーク全国大会(秋田県男鹿市ほか)          12.1-3 第5回科学の甲子園ジュニア(つくば市)          12.22 第32回日本ジオパーク委員会(1地域を日本ジオパーク)に認定、1地域を認定取り消し)</p>
--	--	---	---	---	--

<p>11.22 第27回GSJシンポジウム「全国版自然由来重金 属データ整備に向けて」(東京) 12.7 第28回GSJシンポジウム「地圏資源環境研究部門 研究成果報告会地圏資源環境の研究ストーリー—社会 へつなげる研究を目指して—」(東京)</p>	<p>1.20 第14回GSJジオ・サロン「体験!メタンハイドレート」 (東京) 5.1-6.1 地質の日関連展示「近代日本の鉱工業発展を 支えた地質図たち—日本で一番長い国立研究所の歴史 とともに—」(総産省本館ロビー) 5.28-6.1 2018年度春季地質調査研修 6.26-7.13 2018年度GSJ国際研修 8.18 第15回GSJジオ・サロン「水の座談会～食べて飲ん で水を知る」(東京) 9.7-9 地質情報展2018北海道(札幌市;北海道胆振東 部地震のため開催中止) 10.29-11.2 2018年度秋季地質調査研修 12.6 第29回GSJシンポジウム「地圏資源環境研究部門 研究成果報告会粘土・粘土鉱物—枯渇の危機にある 貴重な国内資源—」(東京) 12.16 第16回GSJジオ・サロン「宇宙から地質Ⅱ～映画 の中のウン?ホント?～」(東京)</p>	<p>1.23 草津白根火山山本白根山噴火 3.1 霧島山新燃岳噴火再開 3.11-13 第10回日本地学オリンピック本選(つくば 市) 3.16-19 第7回科学の甲子園(さいたま市) 4.9 島根県西部の地震M6.1 4.11 大分県中津市耶馬溪で斜面崩壊 4.17 伊豆半島地域が世界ジオパークに認定 6.18 大阪府北部でM6.1の地震(最大震度6弱) 7.6-7.8 西日本各地で豪雨による斜面崩壊水害等 7.21 産総研つくばセンター—般公開 8.8-17 第12回国際地学オリンピック(タイ、カンチャ ナブリー) 9.2-4 台風21号による大規模停電等 9.6 北海道胆振東部地震M6.7(最大震度7)による 北海道大規模停電 9.20 第35回日本ジオパーク委員会(1地域を日本 ジオパークに認定) 10.6-8 第9回日本ジオパーク全国大会(北海道様 似町) 10.15 第1回化石の日 10.25-26 産総研テクノブリッジ・フェア 12.7-9 第6回科学の甲子園ジュニア(つくば市) 12.10 本庶 佑氏にノーベル生理学・医学賞 12.22 インドネシア西部クラカタワ火山噴火に伴う津 波</p>
<p>1.10-3.4 冬の特別展「日本—長い国立研究所の歴史—地質図で見るGSJの 135年—」 1.19-3.31 ミニ企画展「富士山5,000mの科学—駿河湾北部の地質と自然を探る —」 2.1 展示更新「世界の鉱物資源」(第2展示室) 3.1 展示改修「日本列島大型模型プロジェクト」(第1展示室) 3.6-3.25 特別展「GSJのピカイチ研究—2017年のプレスリリース、主な研究成果 より—」 3.12 展示改修「地質年代測定コーナー壁面」(第1展示室) 3.26 施設改修 点字ブロック設置(入り口付近)、新規設置「関東平野南部模 型」・「山手線沿線の模型」(第1展示室「関東の地質」コーナー)、展示移設「岩石 のできるころ」(第1展示室「地質図とは?」コーナー) 3.28 第27回 自分で作ろう!!化石レプリカ「アンモナイト」 4.17-7.1 春の特別展「関東平野と筑波山—関東平野の深い地質のお話—」 4.21 科学技術週間特別講演会「関東平野を作り上げた川と海」・「縄文時代の 霞ヶ浦周辺の環境と貝塚」 5.23 地質標本館入館者120万人達成(記念品贈呈) 6.23 体験イベント「来て見て持って帰ろう!きれいな砂の世界」 7.21 夏の特別講演会「縄文時代の霞ヶ浦周辺の環境と貝塚」・「関東平野を作り 上げた川と海」 8.21-11.18 夏の特別展「地球の時間、ヒトの時間—アト砂から46億年まで35桁 の物語—」 8.24 夏休み化石クリーニング体験教室 8.25 夏休み地球なんでも相談 10.10-31 企画展「化石の日」制定記念 素晴らしい日本の石・ニッポニテス 10.21 化石の日記念体験イベント 第28回 自分で作ろう!!化石レプリカ「三葉虫」 11.13 茨城県民の日スベシヤルガイッア— 11.20-2019.2.17 冬の特別展「明治からつなぐ地質の知恵 北海道の地質—北 海道命名150周年—」</p>	<p>1.18 第30回GSJシンポジウム「千葉の地質と地震災害 を知る」(千葉市) 2.16 第17回GSJジオ・サロン「凹凸な日本列島!?—模型 でひとく大地の成り立ち—」(東京) 3.29-31 地質情報展2019北海道—明治からつなぐ地質 の知恵—(札幌市)</p>	<p>2.22, 7.11小惑星探査機「はやぶさ2」小惑星から2 回試料採取 3.12-13 第11回日本地学オリンピック本選(つくば 市) 3.15-18 第8回科学の甲子園(さいたま市) 1.3 熊本県熊本地方でM5.1の地震 4.10 おとめ産銅河川の巨大ブロッコホール画像公 開</p>
<p>2018 (平成30)</p>	<p>1.19 体験イベント「来て見て持って帰ろう!きれいな砂の世界」 2.19-4.14 特別展「GSJのピカイチ研究—2018年のプレスリリース、主な研究成 果より—」 3.16 体験イベント 第29回自分で作ろう!!化石レプリカ「アンモナイト」 3.31 展示改修「日本列島プロジェクト」・「地質図の歴史」・「関東 平野の地下模型」・「音声解説システム」・「関東の地質」コーナーに筑波山地形模 型プロジェクトマンシップ(第1展示室)、「岩石薄片をつくる」(第3展示室) 4.1 第13代館長 森田登人</p>	<p>2019 (平成31)</p>

<p>4.16-7.7 春の特別展「宇宙から地質—衛星でみる地質—」 4.20 科学技術週間特別講演会「人工衛星を使って地質を調べる！」・「人工衛星が開く新しい宇宙ビジネス」</p>	<p>5.10 地質の日関連個人向けガイダンス—体験型実験 6.17 展示更新「日本列島周辺の震源分布」大阪府北部の地震、北海道胆振東部地震の震源追加（1階ホール天井） 6.22 夏の特別展開連プレ体験イベント「来て見て持って帰ろう！きれいな砂の世界」 7.9-10.6 夏の特別展「美しい砂の世界—日本の砂、世界の砂、地層の砂—」 7.20 夏の特別講演会「砂の話—河原の砂・浜辺の砂」・「砂の模様からわかる昔の風景」 8.8 夏の特別展開連体験イベント「楽しい鳴り砂&amp;砂変幻」 8.23 夏休み化石クリーニング体験教室 8.24 夏休み地球なんでも相談 10.1-11.4 化石の日関連企画展「恐竜とアンモナイト—白亜紀の日本を語る化石—」 10.8-2020.1.5 秋冬の特別展「日本発！日本列島大分析 元素で見る『地球化学図』の図」 10.19 化石の日関連企画展特別講演会「『ざんねん』じゃなかった！日本のスゴい古生物」 10.26 秋の特別講演会「『地球化学図』の原方」 11.9 化石の日関連体験イベント「第30回 自分で作ろう!! 化石レプリカ」(台風19号つくば市付近通過で10.12からの延期)</p>	<p>5.7-5.31 地質の日関連展示「日本初！日本列島大分析 元素で見る『地球化学図』」(経産省本館ロビー) 5.20-24 2019年度春季地質調査研修 6.4-21 2019年度GSJ国際研修 7.30-31 第3回日中韓ジオサミット(札幌市) 9.21-23 地質情報展2019やまぐちめぐち—めぐってみよう大地の図かん—(山口市) 10.28-11.1 2019年度秋季地質調査研修 11.23 地層と化石の観察会—霞ヶ浦周辺の化石産地を訪ねて—(国立科学博物館共催) 12.6 第31回GSJシンポジウム「地下水、土壌、地中熱の基礎データ整備と利活用」(東京) 12.12 第32回GSJシンポジウム「神奈川の地質と災害」(横浜市)</p>	<p>4.15 科学技術週間「一家に一枚 日本列島7億年の発行」 5.1 改元(令和元年) 5.20 国際度量衡SI基本4単位の定義改定 6.18 山形県沖の地震M6.7 7.20 産総研つくばセンター—一般公開 8.7 浅間火山噴火 8.26-9.3 第13回国際地学オリンピック(韓国、大邱) 9.5 台風15号による大規模停電 10.12-13 台風19号による東日本各地の河川決壊・氾濫等 10.24-25 産総研テククノブリッジ・フェア 10.31-11.5 第10回日本ジオパーク全国大会(大分市ほか) 12.6-8 第7回科学の甲子園ジュニア(つくば市) 12.10 吉野 彰氏にノーベル化学賞</p>
---	--	---	--

文 献

- 地質標本館 (2001) 地質標本館 20 年のあゆみ. 地質ニュース, no.557, 54-58.
- 藤原 治・芝原暁彦 (2018) プロジェクションマッピングでリニューアルされた「日本列島立体地質図」. GSJ 地質ニュース, 7, 178-181.
- 森尻理恵・利光誠一・下川浩一・佐藤隆司・高橋 誠・酒井 彰 (2017) 校外学習の場としての地質標本館—入館者データから見た地学教育の現状と課題. GSJ 地質ニュース, 6, 338-344.
- 尾上 亨・神戸信和・山田直利・松江千佐世・奥山 (楠瀬) 康子 (1990) 地質標本館の年表. 地質ニュース, no.431, 70-74.
- 産総研地質調査総合センター地質情報基盤センター (2018) 地質標本館来館者 120 万人達成. GSJ 地質ニュース, 7, 182.
- 坂本 亨 (1990) 戦前の地質調査所の標本展示. 地質ニュース, no.431, 33-37.
- 
- TOSHIMITSU Seiichi, FUJIWARA Osamu and MORITA Sumito (2019) A chronological table of the Geological Museum, GSJ, from 2001 to 2019.
- 

(受付：2019 年 10 月 25 日)